

Frontier Innovations 1号投資事業有限責任組合の組成について
ー 宇宙を始めとするディープテックスタートアップへの投資に特化した、
宇宙航空研究開発機構（JAXA）からアンカーLP出資を受ける1号ファンドを組
成。本邦国立研究開発法人から初めてLP出資を受けるファンド ー

Frontier Innovations 株式会社（本社：東京都中央区日本橋室町、代表取締役社長：西村 竜彦、以下「当社」）は、この度、当社が無限責任組合員として運営する Frontier Innovations 1号投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）を組成したことをお知らせします。

当社はディープテックスタートアップへのシード・アーリー投資を行う独立系ベンチャーキャピタルです。当社代表の西村は、メーカー出身のバックグラウンドを活かし、政府系のベンチャーキャピタルである株式会社産業革新機構（現 株式会社 INCJ）において宇宙産業チームを組成してリードし、ispace（東証グロース 9348）、QPS 研究所（東証グロース 5595）、Ridge-i（東証グロース 5572）など、数々の有力な宇宙・ディープテックスタートアップにリード投資を行い、社外取締役を担うなど、豊富な経験と実績を有しています。

当社は、ディープテックを日本発でグローバルに競争力があるスタートアップが誕生し得るフロンティア領域と考えており、その中でも宇宙分野は、2023年に日本国内で初となる宇宙スタートアップの上場事例が達成され、またユニコーン級の企業価値が期待されるスタートアップが続々と輩出されるなど、注目を集めています。日本政府も、閣議決定された宇宙基本計画で、宇宙産業を日本経済における成長産業とすることを目標に、スタートアップをはじめとする民間企業等が大胆に技術開発に取り組めるように宇宙戦略基金を設置するなど、非常に積極的な政策支援等が行われており、今後、日本を代表する大きな新産業となっていくことが強く期待されています。

■有限責任組合員（LP）の皆さまについて

本ファンドは、日本政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関である宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）からのアンカーLP出資を受ける初のファンドです。なお、国立研究開発法人からLP出資を受ける日本初のファンドにもなります。

JAXAに加え、三井住友銀行、三井不動産、日本政策投資銀行、三井住友海上火災保険、日ノ樹、インキュベイトファンドなどの日本を代表する機関投資家・事業会社等にLPとして参画いただき、連携を深めて参ります。

なお、当社は、2024年3月28日付でJAXAと連携・協力に関して協力覚書を締結しております。本ファンドでは、JAXAと密接に連携・協力して投資先に対するハンズオン支援を行い、宇宙・非宇宙のディープテックスタートアップの成功例を輩出し、スタートアップエコシステムの拡大・新産業の創出を目指していきます。

■ファンド戦略

本ファンドは、主に宇宙、及び非宇宙（クライメイトテック、AI、ロボティクス、センサー/要素技術関連、AR/VR等、先端/フロンティア技術分野）のディープテックスタートアップのシード・アーリーステージを主な投資対象として、リード/ハンズオン投資・支援していく予定です。また、運用期間を15年（最大3年の延長期間を含む）と比較的長期に設定しており、事業化に長い時間がかかる宇宙を始めとするディープテックスタートアップへの投資に積極的に取り組むことを可能としております。



■LPの皆さまからのメッセージ**JAXA 副理事長 石井 康夫様**

「Frontier Innovations は、宇宙分野だけでなく、非宇宙分野のディープテックスタートアップにもバランス良く投資される方針であることから、宇宙産業エコシステムの構築や異分野との糾合を図るオープンイノベーションの促進が期待できるとして、JAXA は本ファンドを初の間接出資先に決定しました。JAXA は、本ファンドへの出資を通じて、持続的な宇宙産業エコシステムの構築を図っていきたいと考えています。そのために GP の皆さまとも密接に連携し、投資先企業への人的・技術的支援等、ファンド運営への積極的な支援も行う方針です。宇宙産業の発展に向けて、ともに頑張っていきたいと思います。」

インキュベイトファンド 代表パートナー 赤浦 徹様

「21 世紀を代表する企業を創るために、宇宙分野こそ期待できます。日本経済再興の具体策として宇宙分野は日本の新産業の柱として有望であると考えています。JAXA が持つ知見と技術を活かすべく、アンカーLP である JAXA と密接に連携し、日本を代表するスタートアップ・新産業創出を目指す Frontier Innovations を全力で支援いたします。日本から世界を代表する会社を共につくっていきましょう。」

三井不動産株式会社 宇宙ビジネス・イノベーション推進部長 七尾 克久様

「三井不動産は、産学官の宇宙事業関係者の連携・共創、および非宇宙企業の宇宙産業参入を促進するオープンプラットフォーム「クロスユア」を設立し、日本橋の街づくりを通じて宇宙産業発展の支援に取り組んでいます。JAXA と連携協定も締結しているクロスユアの活動と、宇宙・非宇宙のスタートアップ投資・支援に取り組む Frontier Innovations への出資および連携協定を通じて、宇宙産業スタートアップエコシステムの更なる拡大・新産業創出の支援を加速して参ります。」

株式会社日本政策投資銀行 航空宇宙室長 甘木 大己様

「DBJ は、日本の航空宇宙関連のスタートアップ企業への投資等を通じて宇宙産業を支援してまいりました。今後につきましては、当ファンドへの出資を通じて、シード・アーリー期の宇宙関連スタートアップをこれまで以上に幅広く支援することに加え、GP・LP の皆様との連携を通じた本邦宇宙産業の発展のための取り組みも進めてまいります。」

三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 企業マーケット戦略部長 有元 威彦様

「我が国でも宇宙産業の盛り上がりを見せている中、JAXA 様がアンカーLP となる国内初のファンドを立ち上げ、大きなリスクマネーを供給することは大変有意義、かつ画期的と考えております。弊社も LP として参画させていただくことで本ファンドの挑戦ならびに本フ

ファンドを通して宇宙産業の価値創造や拡大に挑戦するスタートアップを全力で応援し、支援して参ります。」

株式会社日ノ樹 取締役社長 内田 博之様

「私共は、宇宙関連スタートアップの ispace を 2013 年の創業段階から寄り添ってご支援してまいりました。また、その後も宇宙関連のみならず非宇宙のディープテックスタートアップもご支援しています。今回のファンドは JAXA にも参画いただき、まさに官民一体となり、本格的に新産業創出に取り組む姿勢を鮮明にしたと考えており、私共も本ファンドへの出資を通じて、これまでの知見を生かしつつ、未来志向で、新たな新産業創出に寄与して行きたいと考えております。」

■今後の募集等について

本ファンドは、2024年6月をもって、予定通りに一次募集を完了いたしました。JAXAをはじめとする既存のLPの皆さまとともに、宇宙・非宇宙のディープテックスタートアップエコシステムの創出・拡大を目指して邁進してまいります。なお、引き続き、本ファンド設立の趣旨や背景に賛同下さる投資家や事業会社等の皆さまからの追加出資を受け入れていき、連携活動やネットワーク等を拡大していく予定です。ご関心のある投資家・事業会社等の皆さまは当社までご連絡下さい。

■当社・本ファンドについて

Frontier Innovations 株式会社

本社：東京都中央区日本橋室町 3-3-9 日本橋アイティビル 3F

代表者：代表取締役社長 西村 竜彦

ウェブサイト：<https://www.frontier-innovations.jp/>

ジェネラルパートナー：西村 竜彦、浜野 豊、湯田 聡

<本件に関するお問い合わせ> Email：ir@frontier-innovations.jp